

FTC、パテントトロールの調査を開始

2013年9月29日

JETRO NY 諸岡

米国連邦取引委員会(FTC)は、パテントトロール(PAE、Patent Assertion Entities)の調査を開始することを発表した¹。

今回の調査は、昨年12月にFTCと司法省(DOJ)とが行ったワークショップ²において、PAEに関する正確なデータが存在しないとの指摘に対して行われるものであり、PAEの実態等を把握することを目的として、PAEとされる約25社と、(PAEの行動と比較するために)ワイヤレス通信関係の製造企業、非製造企業等約15社に対して行われる予定である。

主な調査内容の観点は以下の通り。

- ・PAEはどのような会社構造(親会社、子会社)をとっているか
- ・PAEはどのような特許を保持し、どのように管理しているか
- ・PAEはどのようにして特許を取得しているか(前権利者への支払い方法を含む)
- ・PAEはどのような攻撃手法をとるか(警告書、訴訟、ライセンス等)
- ・PAEの活動コストはどのようなもので、どのように攻撃活動から稼いでいるか

同発表によれば、今回の調査に伴い、調査票³の内容に関し、パブリックコメントを募集することとなっている。

なお、このパブリックコメントの募集に関しては、官報にて公表するとしているが、現時点ではまだ官報は公表されていない。

10月4日付記

10月3日付けで官報⁴が公表された。コメントの提出期限は12月2日とされている。

(了)

¹ [FTC ウェブサイト](#)

² [ワークショップのサイト](#)

³ [調査票](#) (PDF)

⁴ [官報](#) (PDF)